



台風が生まれる海の近くで

のぶあき 的場 伸晃さん(ソロモン諸島・ホニアラ在住、川崎市内企業在職)
JICA 青年海外協力隊 任期:2018年6月から2年間



カスタムダンス



雨量計の動作確認



日本平和慰霊公苑



マーケットの様子



現地の子もたち

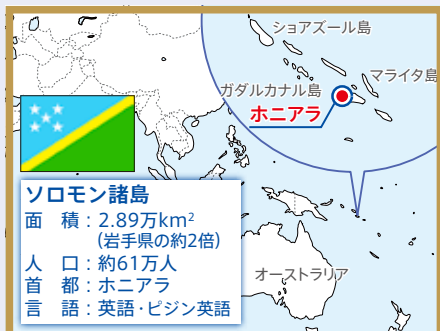


日曜礼拝

皆さん、こんにちは。ソロモン諸島ってどこにある国か思い浮かびますか？オーストラリアの北東、赤道近くにある常夏の島国です。そして第二次世界大戦時には、日本とアメリカが激しい戦いを繰り広げた地でもあります。終戦後、日本は長きにわたり援助を行い、今では友好的な関係を築いています。そんな日本と深い関わりがある国に私は来ています。

ソロモンの自然と人々

ソロモンは、周囲を豊かな緑と海に囲まれていることもあり、自然の恵みにあふれています。道を歩けばバナナ、マンゴー、パパイヤ、スターフルーツなどの南国フルーツ、海に潜れば色とりどりの魚たちと出会うことができます。そんなソロモンに暮らす人々は、温かな人が多く、通



勤途中でも挨拶をしてくれたり、たまにフルーツをくれたりと非常に友好的です。人種としてはメラネシア系の人が多く、肌は褐色系で髪は黒か金色です。大多数の人はキリスト教を信仰していて、日曜になると教会から讃美歌が聞こえてきます。

生活に重要な気象情報

ソロモンの気候は、雨季(11月～4月頃)と乾季(5～10月頃)の2シーズンからなっています。トロピカルサイクロン(台風)の発生地域も近く、雨季には数日間雨が続くこともあり、洪水などの災害に見舞われることもあります。ここで重要となってくるのは、気象情報です。国内各地にはソロモン気象局の気象観測所が設置されています。

私は、その中の1つである首都ホニアラにあるメインオフィスで、青年海外協力隊の電気・電子機器隊員として活動を行っています。気象局の主な業務は、気象・地殻変動観測、観測データの解析、気象予報のネット・ラジオ等を用いた配信です。私はここで、気象観測装置のメンテナンス指導や国民向けスマートフォン用のアプリケーション開発等を、同僚と協力して行っています。

時間も人もゆったり

温暖な気候のためか、細かいことを気にしない人が多いです。そのため、時間感覚も非常にゆったりとしています。現地では「ソロモンタイム」と呼ばれていて、予定時間の1～2時間遅れて始まるのが当たり前です。遅れることが悪いとも思ってないですし、遅れる人に対して文句を言う人は一人もいません。そういった寛容性が、優しい国民性につながっているのではないかと思います。

残り任期1年と少し。もっと色々な文化に触れ、現地の方々と交流を深めていきたいと思っています。

(写真・文：的場 伸晃さん提供)

【お知らせ】



次期JICA ボランティア

応募期間 2/13～4/3

年2回、春と秋にJICA ボランティアを募集しています。事業概要や応募方法など、詳しくはJICAのホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

2018年度より、ホームページを中心にボランティア関連情報を発信します。なお、JICA 横浜では随時、応募相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

TEL : 045-663-3220